

核兵器禁止条約の発効へ!

京都原水協通信

2019年1月8日発行

原水爆禁止京都協議会

Tel 075-811-3203 Fax 075-811-3213

新春清水寺6・9行動

2019年を核兵器禁止条約発効の年に!



被爆74年をむかえた1月6日、京都教職員組合女性部の行動に合流してとりくまれた新春「清水寺6・9行動」には、被爆者、被爆2世をはじめ京教組女性部、退職教職員の会、平和委員会、安保、宗平協、生協労組、右京原水協、京都原水協事務局から30人が参加、例年よりも日本人の参拝者、観光客は少なかったものの、115人分の「ヒバクシャ国際署名」が集まり、2,670円(+20¢)の募金が寄せられました。

オーストラリアから観光に来た2人連れは、英語のビラを見て快く署名に応じ、岐阜から来たカップルは、「広島にも行きました。核兵器は一日も早くなくしたい」と署名しました。

核兵器廃絶願い、被爆者はげますつどいで交流

京都の被爆者を支援する年末恒例の「被爆者をはげますつどいークリスマス平和パーティー」が12月23日にラポール京都で開かれ、被爆者や家族、被爆2世・3世など約100人が参加、出演者や実行委員会スタッフとともに、核も戦争もない平和な世界にむけて連帯、交流を深めました。



参加した被爆者には、1年間で寄せられた被爆者援護・連帯募金をもとにした見舞金やひざ掛けなどの贈り物が渡され、ぜんざいを味わい、うたごえや民謡を楽しみました。今回は、被爆2世の増田正昭さんが、被爆者の話を聞きながら描いた8人の肖像画を披露、本人に手渡されました。つどいの様子は京都新聞、しんぶん赤旗でもとりあげられました。